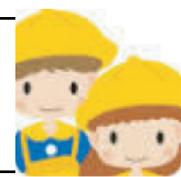


社会福祉法人グリーンローズ

「ことば」の教室  
オリブ園  
インクル

## 卒園式 入園式



## 卒園式

グリーンローズ理事長 後藤 進

平成26年度卒園式が平成27年3月28日(土)に行われました。卒園児48名中参加者32名、すてきな卒園式でした。みんなそれぞれの学校に散らばります。元気に育っていってくれればと願っています。学校は義務教育として、子どもたちが初めて入っていく公の場所です。今、インクルーシブの時代とよく言われるようになりました。

しかし、しっかりと私たちが立っている場所を見つめなければなりません。社会の中にほんとうに受け入れられているのでしょうか。多様な社会として社会が成り立っているのでしょうか。多様な学校として、学校が機能しているのでしょうか。学校に入っていく子どもたちとその家族は、こうした現状をしっかりと見つめていかなければなりません。そして、少しでも受け入れられていないと感じたら、声をあげていきましょう。「合理的配慮」ということばがあります。例えば、車椅子の人が、駅の改札口を通されたとします。しかし、ホームにいく配慮がなされていないならば電車に乗ることは出来ません。そうした配慮のことを「合理的配慮」というわけです。学校に入っても、その子どものニーズに合わせて配慮されていなければ、「合理的配慮」がなされていないのです。これは「差別」とされるわけです。「過大な負担でなければ」という条件がついているようですが、「過大な負担」かどうかは様々な判断がありますので、しっかり声にして訴えていきましょう。それが、子どもの権利だからです。

健康に留意して、元気に学校生活を送って下さい。

## 入園式

平成27年度入園式が、平成27年4月7日(火)に行われました。元気な子どもたちが、会場いっぱいに跳ね回るなかでの入園式でした。大変楽しい、子どもたち活気のある入園式だったと思います。オリブ園での生活は、子どもたちの遊びを中心とした楽しい時間と考えてほしいと思います。ご家族の方々も、子どもと一緒に遊んでほしいと思います。様々な子どもたちとご家族と、オリブ園を媒介にして出会ってほしいと思っています。

子どもは遊びを通して多くのことを学びます。そのことをご家族の方々には実感すると思います。何か勉強的なことを期待してこられたご家族もおられるかもしれません。自分の子ども時代を思い出してほしいと思います。朝から晩まで疲れるまで遊び続け、その中で多くのことを学習してきたのです。オリブ園では、もちろん、ただ遊ばせているわけではありません。感覚をしっかり伸ばしていく遊び(見たり、聞いたり、触れたり、大きな声を出したり等)、手や細かな運動を促進する遊び(物を操作する遊び)、大きな運動(歩いたり、走ったり、飛んだりはねたり等)、を取り入れた遊び、感覚がつながり合う遊び(見た物に手を伸ばし触れてみる、操作して音を聞いてみる等)、そして大事な人と関わりあう遊び(大人とかかわったり、子どもとやりとりしたり、共感し合ったり、ことばでのやりとりから身振りなどジェスチャーを交えたかかわり等)の遊びをいっぱい取り入れて、遊びを組み立てています。家庭でやるにはなかなか難しい遊びなども考えています。ご家族の方もその中でいろんな遊び方を学ぶでしょう。

ご家族の方が向けの勉強会もします。ことばのこと、遊びのこと、発達についての考え方、子どもたちを理解すること、子どもたちをとりまく環境のこと等々、たくさんの方が待っています。

子どもたちとご家族の方々が、様々なことに豊かに出会っていただけるように、お手伝いしたいとオリブ園の職員はみな思っています。聞きたいことがありましたら、何でも聞いてほしいと思います。子どもたちはみな一人一人違いますので、適切な答ができないかもしれませんが、ご家族の方々と一緒に考えていきたいと強く願っております。どうぞよろしくお願い致します。

裏面もありますよ!

何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail [olive@kodomo-sekai.com](mailto:olive@kodomo-sekai.com)  
ホームページ <http://www.kodomo-sekai.jp>